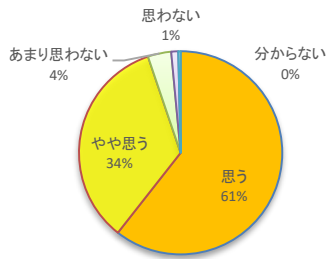


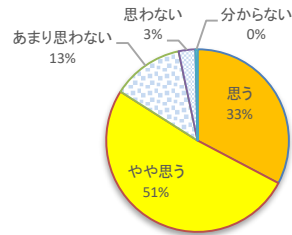
# 保護者アンケート結果集計

令和5年2月

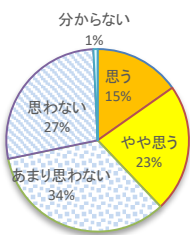
1 お子さんは、楽しく学校生活を送っている。



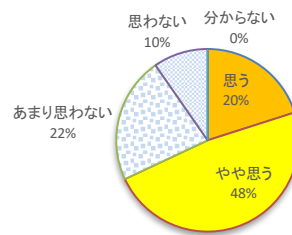
2 お子さんは、漢字や計算などの基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。



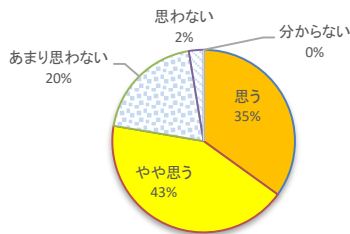
3 お子さんは、普段から進んで読書をする習慣が身に付いている(電子書籍を含む)



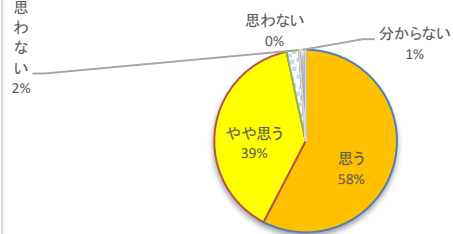
4 お子さんは、時間や決まりを守って生活する習慣が身に付いている。



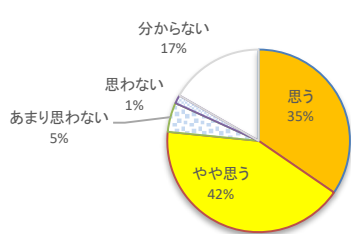
5 お子さんは、進んであいさつする習慣が身に付いている。



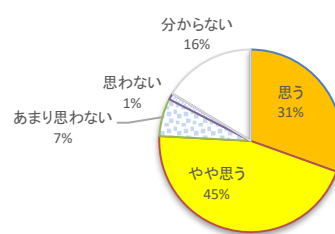
6 学校は、学校だよりや学年だよりなどを通して学校の様子や教育方針を伝えている。



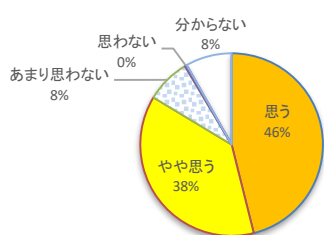
7 学校は、楽しい授業・分かりやすい授業の実施を心がけている。



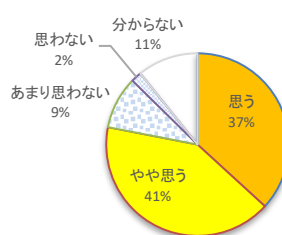
8 学校は、子どもたち一人一人の学習の学習(状況)に応じた指導の工夫に努めている。



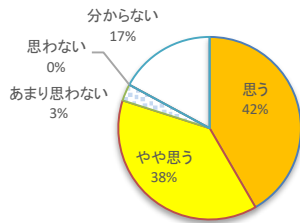
9 学校は、一人一台端末等の活用に努め、子どもたちの情報活用能力の向上に努めている。



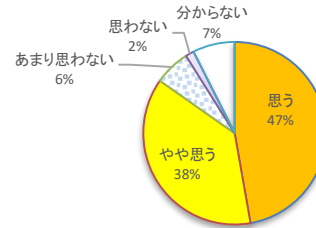
10 学校は、生活アンケートや教育相談などを通して児童生徒理解やいじめの早期発見に努めている。



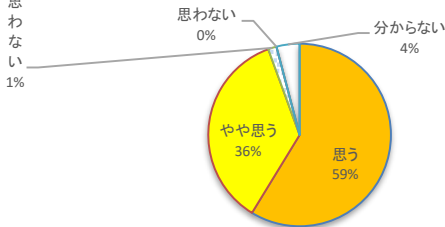
11 学校は、個々の児童生徒に応じた特別支援教育に取り組んでいる。



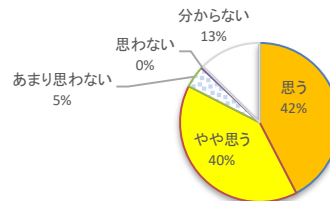
12 学校は、課外活動や部活動を通して子どもたちの体力向上に努めている。



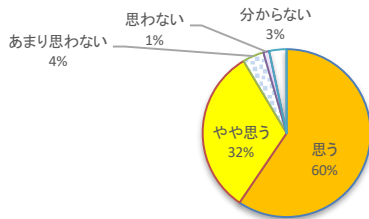
13 学校は、日頃から校舎内外の環境美化に努めている。



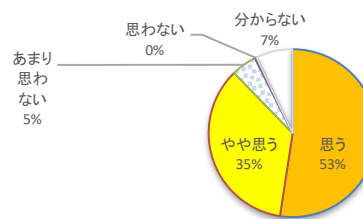
14 学校には、スクールカウンセラーや教育相談員などを配置し、安心して相談できる雰囲気づくりに努めている。



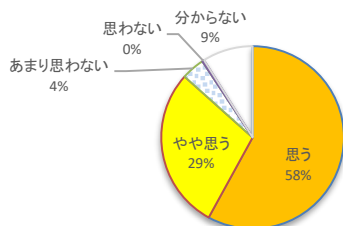
15 学校は、学校内外の巡視や登下校指導、定期的な避難訓練を通して、子どもたちの安全確保や事故防止に努めている。



16 学校は、奉仕作業やバザー、登校指導や読み聞かせ活動など、保護者・地域と連携・協力して、教育活動に取り組んでいる。



17 学校は、義務教育学校として、特色ある教育や異学年交流に努めている。



**【考察】**

前回実施時と比べて通常の教育課程に戻つつある中、保護者や地域の方の来校機会が少しずつ増えてきている。しかし、学校の様子を把握するには十分とは言えず、減少傾向ではあるものの「わからない」という回答が多く見られた。

○全17項目中10の項目で8割以上、4の項目で9割以上の肯定的な回答が得られた。また、11の項目で前回より肯定的な回答率が増加しており、本校の学校教育へのご理解をいただいていると言える。

○項目①⑥⑬⑮については、肯定的回答90%以上で特に高い。情報発信や環境美化、安全確保・事故防止等に対する年間を通した取り組みが保護者の皆様の理解につながったため、今後も安心・安全な学校生活のために継続していく必要がある。

○項目⑥⑧⑬⑮については、前回と比較して3%以上増加した。特に、指導の工夫については、肯定的回答率75%にとどまったものの4.9%増加したため、児童生徒の学力向上に向け、より一層力を入れて取り組んでいく必要がある。

◆前回のアンケート結果と比較すると、全17項目中6の項目で肯定的回答の割合が減少した。特に、読書週間に関する項目は3.7%減少して37%となった。また、家庭学習に関する項目が次いで68%となり、本校の最も顕著な課題であると言える。

◆項目①⑨⑩⑭⑰については、前回よりも肯定的な回答が減少したものの減少率1%以内で横ばいであると言えるため、今後はさらなる理解を得られるような取り組みについて考える必要がある。

◆項目③については、例年、肯定的な回答が少ない項目ではあるが、今回は4割を下回る結果になったため、今後の教育活動において最も強化を図るべき内容であると言える。

◆本アンケートの回答方法についても、全269回答中48回答が紙面提出によるものだった。家庭におけるインターネット環境の整備は進んでいると予想されるが、WEB回答そのものに不慣れな家庭が一定数存在することが分かる。今後も、教職員の働き方改革やペーパーレス等を進めるため、WEB等を活用した家庭とのやりとりについても同時に進める必要がある。